

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.37 2010.9.1



福まち通信

菊水福祉のまち推進センター運営委員会
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10
電話 011-887-7006 FAX011-887-7006
URL <http://kikusui-net.jp>



暑っ！でも涼しい

各地区夏祭り開催

8月は各地区の夏祭りが行われます。7日(土)には南連合町内会主催の「南町夏まつり」がのぎく公園で、翌8日(日)には上町連合町内会主催の「上町連合町内会納涼盆踊り演芸大会」が、白石公園で開催されました。

南町夏まつりに、去年も参加した二人の小学生が招待されました。

天気予報では雨という空模様の中、午前10時に、左の写真の勇壮な太鼓のオープニングセレモニーで祭りは始まりました。この太鼓は、公園の近くで障がい者の通所授産を行って



る菊水ワークセンターの親法人「札幌市手をつなぐ育成会」が20年前から育ててきた「育成太鼓」の皆さんによる友情出演です。

前の日から準備をしてきた町内会手作りの焼き鳥・綿あめ・おにぎり・おでん・スナックなどの屋台のテントのほか、こども会や少年野球クラブ、児童会館や菊水ワークセンターなどの協賛団体による売店のテントなどに子どもたちが群がっています。



サワチャン(二年生) お友達 ホノカちゃん(三年生)



子ども達の歌と踊り、ジャンケン大会と祭りは次第に盛り上がりを見せます。去年も参加した筋萎縮症の二人の姉妹が、今年も参加しました。今年はおそろいの浴衣を着て、髪飾りですっかり大人ぽくなっていました。顔なじみになった町内会のおじさんやおばさんたちから、スナック菓子や焼き鳥のプレゼントを買ってすごく楽しそうです。

ラムネの早のみ競争のあたりから心配していた雨が降り出しましたが、1時間ほどで小雨となりイベントは支障なく実施されました。最後のビンゴゲームは8時半から約1時間かかりました。1等賞の自転車の当選者が決まると会場から歓声が上がりました。

と町連合町内会納涼盆踊り演芸大会には2施設の高齢者が招待されました。

この日もお天気を心配しながらの決行となりました。午後1時から子どもゲーム大会で幕を上げました。数多くのテントが用意されていて、雨対策は万全です。



今年もこの地域にある「菊水こまちの郷」と「ハートの家伍番館」の施設利用高齢者がこの祭りに招待されました。用意されたテントのなかで、焼き鳥を頬張りトーキビをかじりながらとても楽しそうでした。

時々小雨がぱらついていましたが、イベントは順調に進められました。午後5時から子ども盆踊りが始まり、6時から大人の盆踊り大会とへ進められました。櫓を中心に同じうちわを持った踊り手の輪が大きく広がりました。

午後7時から歌謡ショーが始ま

ります。元森雄二とサザンクロスのリードボーカルを担当していた「菅野ゆたか」さんの歌声に参加者の皆さんはすっかり酔いしれました。

さあ、最後のメインイベントの大抽選会です。1等の薄型液晶テレビを狙って緊張と興奮の渦が祭りの会場を埋め尽くしました。当選者が決まると感嘆の声があがり、諦めのため息が漏れました。

この祭りに参加した「ハートの家伍番館」の国柄施設長さんは、今年からはただ招待されるだけでなく、地域の一員として祭り運営の役割を担いたいと、会場のごみ収集と分別を引き受けることにしました。

「菊水こまちの郷」からは、全入居利用者の6割の高齢者が参加しました。施設長の佐藤さんからは、次のようなコメントを頂いています。



佐藤施設長挨拶

地域密着型介護老人福祉施設「菊水こまちの郷」は、『わが家のように、いきいきと』を基本理念に3年前に開設しました。ご利用者の皆様が地域の一員として施設に在ってもご自宅にいたときと同じように、これまでの人間関係や地域との関係性に配慮した生活スタイルを継続できるよう務めてまいりました。



佐藤施設長

そのために、町内会や福まちの皆様方のご配慮をいただき、地域で行われますいろいろなイベントにいつも参加させていただいており、利用者から大変好評を頂いております。

今後とも、利用者が地域の一住民として、地域で自分らしい生活がエンジョイできますよう、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



幼稚園で遊ぼう

8月10日(火) 子育てサロン「どんぐりころころ」が、いつもの会場を離れて「市立東橋幼稚園」(菊水8条2丁目1-1)で開催されました。

幼稚園の夏休み期間を利用して、専門施設の環境を利用しようと企画したものです。お母さんたちの期待も大きく



いつも以上の参加者が集まりました。

菊水やよい児童会館所属の指導クラブの子どもたちの賛助出演がありました。男の子は、紙芝居「お豆君パチパチ」、女の子は、手遊び「おつむてんてん」「子豚、狸、狐、猫」を演じて好評でした。



そのあと、水遊びに興じました。ミニプールにつかり、連日の真夏日で火照った体を冷やしながら、大好きな水遊びにすっかり夢中になりました。お母さんたちも安心して遊ばせることができました。

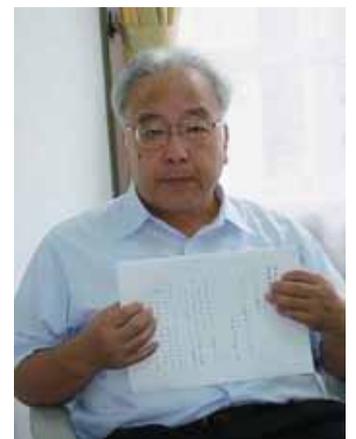
(表紙の写真は、そのときのもので)

施設職員の手作りラジオ放送劇

菊水5条1丁目に存在する「札幌市菊寿園」は、ことし創立40周年を迎えます。この施設は札幌市が設置し、指定管理者制度により管理運営を社会福祉法人「慈恵会」に委託している施設です。施設の種類は老人福祉法による「軽費老人ホーム」です。食事つきの下宿とでもいえば判り易いと思います。



この度、先月号でもお知らせしたように、施設の40周年を記念して、施設長の多田さんがラジオドラマを書き、8月11日にコミュニティ放送局「ラジオカオスサッポロ78.1ヘルツ」で放送されました。



台本を手にする多田施設長

多田さんは演劇の脚本に興味を持ち、以前から書き続けています。14年前、石狩市創立記念の野外劇の脚本募集に応募し大賞をとり、「石狩歴史野外劇」として演じられたことがあります。

今度のドラマは「チンチン電車」というタイトルです。ドラマのあらすじは、人生の半ばで挫折し故郷の札幌で暮らす作家志望の男が、老人ホー

ム取材原稿を頼まれチンチン電車でホームを訪ねたとき、突然脳裏に浮かんだ一周忌を迎えた両親と、ホームでいきいきと暮らす高齢者の姿から、生きるエネルギーを与えられるという話です。

菊寿園のスタッフ全員で創り上げたこのドラマは、40周年の記念としてスタッフの思い出として永く記憶に残るものだと思います。スタッフの皆さんご苦労様でした。

(9月1日に菊寿園の40周年記念式典が行われます。この式典にはまちづくりセンターの渋井所長と所在地の単位町内会の松本会長が招待されています。)

よつクロ Q&A

Q1 介護老人福祉施設について教えてください。

A1 介護保険の中核を占める「介護保険三施設」は、①介護老人福祉施設(特別養護老人施設・特養)②介護老人保健施設(老人保健施設)③介護療養型医療施設があります。お尋ねの施設は、最初の①の施設で全国で約6,000施設と、介護施設において最大の存在です。法の理念に基づき、施設の設置運営は、地方自治体と社会福祉法人に限られます。施設の建設費の四分の三をまかなっている国の補助金が2005年に廃止され、この施設の新設にブレーキがかかっているという問題があります。

Q2 介護保険によるサービスにはどのようなものがあるのでしょうか。

A2 現在介護保険のサービスは、次の三つに分類されます。①施設サービス②居宅(在宅)サービス③地域密着型サービス(2006年の介護保険法改正で追加された)です。

「施設サービス」は、前記の「介護保険三施設」などの施設に入居し食事や介護などのサービスを受けることを言います。「居宅(在宅)サービス」は、自宅での生活が継続できるよう、デイサービスや訪問介護等、13種のサービスが用意されています。「地域密着型サービス」は、今まで築きあげてきた人間関係や地域との関係を保ちながら、介護が必要になっても、住みなれた地域でその人らしい生活を継続できるように、また施設に入っても、自宅にいたときと同じような暮らしを送りたいという思いを大切に新設されたサービスです。

「地域密着型サービス」には、以下の6つのサービスがあります。

- ①夜間対応型訪問介護
- ②認知症対応型通所介護
- ③小規模多機能型居宅介護(登録制による通い・泊まり・訪問)
- ④認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
- ⑤地域密着型特定施設入居者生活介護
- ⑥地域密着型介護老人福祉施設

Q3 「菊水こまちの郷」が地域密着型老人福祉施設だと聞きましたが、この地域密着型というのはどんなサービスを提供する施設でしょうか。

A3 これに对称する機能を持った施設に「広域型老人福祉施設」があります。従来特別養護老人ホー

ムとして、特定の市町村の高齢者ととどまらず、広域の利用者の便に供していた従来の特養とは対照的に、設置されている市町村の居住者のみを対象にした施設で、入居定員が29名以下の特別養護老人ホームであるといえます。いってみれば特養の地域密着型サービス用・小型サイズ版で、「サテライト特養」などと呼ばれています。

「広域型の老人施設」に対する国の補助が実質的になくなった現状において、札幌市ではこの「地域密着型老人福祉施設」を今後の施設設置の標準に考えている様子で、現在、市内に8箇所設置されていますが、残った2区に来年それぞれ設置される予定ですので、これで全区に設置されることとなります。

「菊水こまちの郷」は、全区に先駆けて一番最初に設置された施設で、前記の③小規模多機能型居宅介護(登録制による通い・泊まり・訪問)⑥地域密着型介護老人福祉施設の併設施設として開設されました。

Q4 「菊水こまちの郷」が行っている「小規模多機能型居宅介護サービス」について教えてください。

A4 「小規模多機能型居宅介護」は、登録制を原則として通い(デイサービス)を中心に、利用者の様態や希望に応じて、「訪問」や「泊まり」を組合せて、入浴、排泄、食事などの介護やその他の日常生活のお世話、機能訓練サービス等を行うことで在宅での生活継続を支援するものです。

顔馴染みの職員や仲間と共に過ごしながら臨機応変にサポートを受けられるわけで、まさに利用者のニーズに応じた、24時間365日の安心を確保するサービス拠点であるといえます。

Q5 「ハートの家伍番館」は介護保険によるグループホームだと聞きました。サービスの内容について教えてください。

A5 認知症の状態にある人を対象に、少人数で共同生活をしながら食事・入浴・排泄など日常生活の支援や機能訓練を行います。制度改正以前は「居宅サービス」でしたが、より具体的な「地域密着型サービス」の中に含まれることになりました。これにより、たとえば、認知症になった人が「通い」や「短期入所」をしながら、イザというときにそこに住むという選択肢をとることもできるようになり、住みなれた地域における生活が可能になったのです。

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。連日の猛暑で寝不足になり、冷たいものを食べ過ぎておなかの具合を悪くしてはいませんか。編集子もご多分に漏れず体調不良で歳のせいかエネルギーが枯渇してしまいました。よつクロの編集もいつもより時間がかかり、遅れ気味です。空のいわし雲を見るともうすぐ秋です。お互いに頑張りましょう (枝元)